

一般入試前期A日程2日目

日本史

●全体の講評

日本史の問題は、時代を見ると、原始・古代から大問1問、中世・近世から大問1問、近現代から大問1問を出題しています。大問のなかをA、Bと二つに分けて、異なる二つの時代の問題を出題することもあります。Ⅳでは現代に関する問題も1問を出題します。分野を見ると、政治史、外交史、経済史、社会史、文化史のいずれかを出题します。年代の順を問うもの、資料を用いるものも出題します。

今年の問題では、時代の観点からすると、飛鳥時代、平安時代、鎌倉時代、戦国時代、明治時代、昭和時代から出題しました。特定の時代に偏るのではなく、すべての時代を学ぶように心がけてください。日本史が選択科目になっている知的財産学部でも情報科学部データサイエンス学科でも、入学後の学習内容は基本的に近現代に関わるので、近現代を丁寧に学んでください。

分野の観点からすると、政治史、文化史、外交史、経済史から出題しました。いずれかの分野だけに偏る出題はしていません。経済史や文化史にも十分に目を配ってください。

問題の種類という観点からすると、資料問題も出題していますが、資料集をすべて暗記することを期待しているわけではありません。資料集を用いて学んで、その時代のリアルな動きを把握するという学習習慣が身につくことを期待しています。

時代も分野も問題の種類も幅広いですが、大学での学びに重要な内容ですので、日本史の大きな流れを複眼的に学習してください。

●各設問の講評

I

■出題のねらい

古代の政治史・文化史を中心に出題しました。Aでは、7世紀の政治史を中心とした文を示したうえで、齊明天皇・天武天皇のほか、白鳳文化を問いました。また、Bでは、9～10世紀の政治史を中心としたリード文を示したうえで、藤原氏北家や摂関政治、国風文化などを問いました。

■採点講評

Iの正答率は約59%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
I	①	②	X正しい。Y誤り。磐井の乱(527年)ではなく、唐・新羅に滅ぼされた百濟復興のために大軍を派遣する際に朝倉宮に出陣していた。
	②	②	中大兄皇子は近江大津宮に遷都し、即位して天智天皇となった。

大問	解答 番号	正答	解 説
	3	①	大海人皇子は近江大津宮から飛鳥浄御原宮に遷都し、即位して天武天皇となった。
	4	④	7世紀に百済・高句麗を滅ぼして朝鮮半島を統一したのは新羅。
	5	③	①日本最古とされる富本銭が鑄造された。和同開珎の鑄造は元明天皇の治世の708年。②天智天皇の事績である。 ④大宝律令は文武天皇の治世の701年に完成した。
	6	①	②天智天皇ではなく天武天皇。③高松塚古墳ではなく法隆寺金堂壁画。 ④奈良時代の天平文化に関する内容。
	7	③	Ⅱ平城太上天皇の変（薬子の変、810年）のことで、これにより藤原氏北家が台頭した。→Ⅰ応天門の変（866年）のことで、これにより北家による摂関時代が始まった。→Ⅲ安和の変（969年）のことで、これ以後、摂政・関白がほぼ常置となり、藤原氏は全盛期をむかえた。
	8	⑤	応天門の変後、清和天皇の外祖父である藤原良房が正式に摂政となった。
	9	④	887年、良房の養子である基経が正式に関白に就任した。
	10	①	賀茂祭や除目は、毎年特定の日に行われる年中行事にあたる。
	11	①	②陣定は行われていた。 ③藤原道長は関白になっていない。「望月の歌」は娘の威子が後一条天皇の中宮になった際によんだものである。 ④醍醐天皇ではなく後三条天皇。醍醐天皇は摂関家と外戚関係にあったが、摂関政治期に親政を行った（延喜の治）。
	12	③	①紫式部が仕えたのは皇后定子ではなく中宮彰子である。 ②『大和物語』ではなく『伊勢物語』。『大和物語』は当時流行していた歌語りを採録した歌物語。 ④『往生要集』ではなく『日本往生極楽記』。『往生要集』は源信（恵心僧都）が著した仏教書。

II

■出題のねらい

中世の外交史を中心に出題しました。Aでは、蒙古襲来にいたるまでの背景についての文を示し、蒙古襲来に対する幕府の対応や、その後の幕府の動揺などを問いました。また、日蓮の『立正安国論』についての史料問題も出しました。Bでは、南蛮貿易についてのリード文を示し、南蛮文化やバテレン追放令などを問いました。

■採点講評

Ⅱの正答率は約50%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
Ⅱ	13	③	③日蓮は『立正安国論』で法華経を信仰しなければ他国から侵略されるなどと説いた。 ①法然の『一枚起請文』で、専修念仏に関する内容。 ②唯円の『歎異抄』で、悪人正機説に関する内容。 ④懷奘の『正法眼蔵随聞記』で、只管打坐に関する内容。
	14	④	イチングス=ハンはモンゴル帝国初代皇帝。 ウ亀山天皇を祖とする皇統は大覚寺統。持明院統の祖は後深草天皇。
	15	③	エ丸都は高句麗中期の王都。 オ南宋は文永の役（1274年）後の1279年に元に滅ぼされた。
	16	④	X誤り。鎮西探題がおかれたのは蒙古襲来（元寇）後。 Y誤り。石塁（石築地）が設置されたのは文永の役（1274年）と弘安の役（1281年）の間。
	17	③	①安達泰盛と平頼綱が逆。 ②引付衆の設置は5代執権北条時頼によるもので、1249年のこと。 ④吉田兼俱ではなく度会家行。吉田兼俱は室町時代に唯一神道を大成した。
	18	①	X Y正しい。
	19	②	ケ大内義弘は応永の乱（1399年）で足利義満に討たれた守護。 コ日本は南蛮貿易で金を輸入していた。
	20	①	②島津貴久ではなく島津義久。島津貴久はフランシスコ=ザビエルに布教の許可を与えた戦国大名。 ③ポルトガル船の来航を禁止するのは江戸幕府の鎖国令による。 ④高山右近が国外追放されるのは江戸幕府の禁教令による。
	21	④	①洛中洛外図屏風ではなく南蛮屏風。洛中洛外図屏風は京都内外の名所などを描いたもの。 ②教会堂は南蛮寺。コレジオはイエズス会が設置した大学。 ③ガスパル=ヴィレラではなくヴァリニャーニ。ガスパル=ヴィレラは堺をベニスに似ているとイエズス会に報告した宣教師。

Ⅲ

■出題のねらい

近代の経済史を中心に出题しました。Aでは、殖産興業政策から1900年代に進展した産業革命までを概観した文を示し、松方財政や企業勃興のほか、日本の軽工業や重工業の発展の歴史などを幅広く問いました。Bでは、昭和恐慌前後の経済状況についてのリード文を示し、当時の日本の経済状況を多面的に問いました。

■採点講評

Ⅲの正答率は約48%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
Ⅲ	22	③	X誤り。モースではなくケプロン。モースは東京大学で動物学・生理学を教えた。また、大森貝塚を発見したことでも知られる。Y正しい。
	23	④	①大隈重信大蔵卿による政策である。 ②工場払下げ概則は松方財政下で廃止され、これにより工場の払い下げが進んだ。 ③金本位制ではなく銀本位制。
	24	③	ウ日本国有鉄道は1949年に誕生した政府全額出資の公社。 エ鐘淵紡績会社は1888年に東京綿商社が改称してできた紡績会社。
	25	①	②臥雲辰致ではなく豊田佐吉。臥雲辰致はガラ紡の発明者。 ③ボンベイ航路の開設（1893年）は航海奨励法の公布（1896年）よりも早い。 ④雨宮製糸ストは1886年に起こっており、労働組合期成会の結成（1897年）より早い。
	26	④	①横浜正金銀行ではなく日本興業銀行。横浜正金銀行は貿易金融を主目的とした。 ②日露戦争ではなく日清戦争。日露戦争では賠償金は得られなかった。 ③『日本人』は政教社の機関誌。民友社の機関誌は『国民之友』。
	27	②	①好景気に沸くアメリカ市場に生糸が、アジア市場に綿糸・綿織物が輸出された。 ③1918年に南満州鉄道株式会社（満鉄）が鞍山製鉄所を設置した。 ④アメリカではなくドイツ。
	28	④	Ⅱ関東大震災によって生じた震災恐慌（1923年）。→Ⅲ慢性的不況と震災手形処理問題が原因となって生じた金融恐慌（1927年）。→Ⅰ昭和恐慌（1930～35年）のなかで起こった農業恐慌。

大問	解答 番号	正答	解 説
	29	③	ケ田中義一内閣は金融恐慌を鎮静化させた内閣。 コ立憲民政党は立憲政友会とともに「憲政の常道」を展開した政党。
	30	①	②日窒コンツェルンは野口遵、③日曹コンツェルンは中野友礼、 ④理研コンツェルンは大河内正敏が創始した。

IV

■出題のねらい

弥生時代の遺跡や倭の五王などといった原始・古代に関するものから、戦後の冷戦期における東西の体制といった近現代の事象にいたるまで、すべての時代と分野を出題範囲として、基本事項を幅広く出題しました。

■採点講評

IV の正答率は約48%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
IV	31	③	いずれも弥生時代の遺跡だが、①板付遺跡は福岡県、②唐古・鍵遺跡は奈良県。④菜畑遺跡は佐賀県にある。
	32	②	X正しい。Y誤り。『魏志』倭人伝ではなく『宋書』倭国伝。『魏志』倭人伝には239年の卑弥呼の遣使などが記されている。
	33	①	②悲田院ではなく施薬院。悲田院は孤児や病人を収容した施設。③鑑真の来日は東大寺の大仏開眼供養の儀式の後である。 ④平城京の大寺院の移転は認められなかった。
	34	③	①陳和卿ではなく重源。陳和卿は重源が招いた工人。 ②『梁塵秘抄』ではなく『禁秘抄』。『梁塵秘抄』は後白河法皇が今様をまとめたもの。 ④似絵ではなく頂相。似絵は大和絵の肖像画。
	35	④	①斯波氏、②畠山氏、③細川氏は管領をつとめた氏族（三管領）。
	36	②	①4代将軍徳川家綱の治世の出来事。 ③林羅山ではなく林鳳岡（信篤）を初代大学頭とした。 ④6代将軍徳川家宣のもとで新井白石が行った。
	37	④	松平定信は田沼意次失脚の要因となった④天明の飢饉後の荒廃した農村の復興につとめた。

大問	解答 番号	正答	解 説
	38	④	①グナイスト、②シュタインは憲法を学ぶために渡欧した伊藤博文に憲法などを講じた法学者。 ③ボアソナードは司法省顧問として民法・刑法を起草したフランスの法学者。
	39	④	①～③は明治時代の自然科学に関する内容。
	40	①	X Y 正しい。